



## みんなで在庫を確認してムダのない消費を!

NPO法人フードバンクネット西埼玉は、生活困窮者を支援するNPO法人サマリアの活動の中から、食料支援に特化した別法人としてスタートし、令和5年で7年が経ちました。

活動を始めた頃は、まだ「フードバンク」という活動そのものの認知度が低く、駅前で活動紹介のピラを配るなど、私たちの活動を知っていただくことから始めました。

当フードバンクは、スタート時から地域に密着した活動を行っています。スタッフやボランティアは所沢市内や周辺市町から集まっており、活動資金も市民や企業からの寄付金などで賄っています。地域に根差し、地域の方々と共に取り組むフードバンク活動を進めています。



### 活動紹介

私たちのフードバンク活動は、食べ物を循環させるだけではありません。無駄を減らし、まだ安全に食べられる食料を有効に活用する「フードバンク」の仕組みを利用して、地域の色々な人が色々な立場で活動に参加し、いつの間にか誰かを笑顔にしている、そんなフードバンク活動です。

### 優しさのプラットフォーム

地域の社会福祉協議会や行政窓口、子どもや障害者、困窮者の支援団体等へ、気持ちとともに食料をお届けし、様々な活動を通じて必要とする人に届けます。

### 「もったいない」を「ありがとう」へ

食品ロスの削減に寄与し、まだ安全に食べられる食品を有効活用する仕組みづくりに取り組みます。

### いつでも食べ物がもらえる場所があること、それは生きる権利を守ること

人道支援として、面倒な手続きや審査なしに小さな「SOS」を受け止める場所を地域に作ります。「食べ物がほしい」という方へ、初回は無条件で食料を提供します。

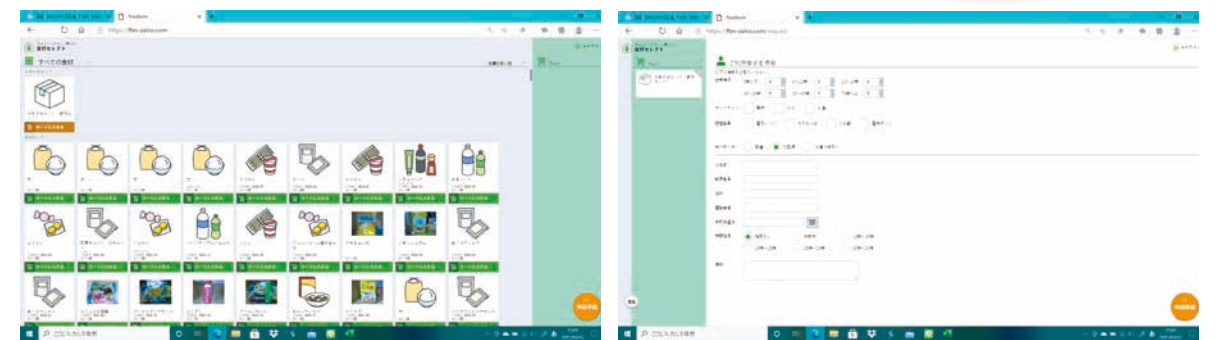


## 食品ロス削減のために

### 在庫マッチングシステムの開発

昨年度、独立行政法人福祉医療機構(WAM)の助成金を活用し、在庫マッチングシステムを開発しました。当フードバンクの在庫状況をネット上に公開し、連携先の団体等は、オンラインショッピングのように希望する食品を選んで注文できるシステムです。

本システムの開発前は、倉庫にスタッフがいる時でない、発注者は希望する食品の在庫状況を確認できませんでした。本システムの導入後は、倉庫にスタッフがいなくても在庫状況を確認して発注でき、発注者にとっても当フードバンクにとっても、負担の軽減につながっています。



### 地域のフードバンクの立ち上げ支援とネットワーク化

地域に密着したフードバンク活動を広げるため、地域のフードバンクの立ち上げを支援しています。これからフードバンク活動を始めようとしている団体から、フードバンクを立ち上げてしばらく経つ団体など、各段階で抱える悩みは異なります。当フードバンクは、5年間の活動実績を踏まえ、各団体の悩みや困りごとに応じて相談を受けたり、企画を提案したりしています。

また、地域で活動するフードバンクをネットワーク化し、一度に大量に寄附があった時の調整等も行っています。



### NPO法人フードバンクネット西埼玉からのメッセージ

当フードバンクの活動は、地域の企業・個人など様々な方の支えによって継続しています。食品をいただき、必要とするところへ届けるまでには、食品のチェックやデータの入力、発注を受けて発送準備をするボランティアスタッフの協力が欠かせません。また、食品を保管する倉庫も、別団体の協力によって維持しています。

フードバンクという活動の認知度が向上し、食品の寄附などが増えていることは大変嬉しいことです。フードバンクの活動が各地で継続して実施されることで、食料を必要とするところへ、より早く、きめ細やかに食料を届けることができます。

フードバンクの活動が持続可能で安定した社会資源となるよう、ボランティアスタッフとしての参加や、段ボールやガムテープなどの送付資材の寄附、使用していない店舗や家を倉庫として貸し出すなど、様々な形で活動にご協力いただければと思います。

当フードバンクの活動が、地域の「食のセーフティネット」になることを願って今後も活動を続けていきます。